

令和5年度「南城市幼児教育の質向上強化事業」活動記録簿

幼児教育アドバイザー	大城美恵子	実施場所	各園
実施日時	2023年5月19日～11月22日		
事業の名称	保育の質向上に向けて「南城市幼児教育施設保育支援訪問」 【公立幼稚園1園・公立認定こども園1園・公私連携型園認定こども園3園 私立認定こども園4園・認可保育所19園・小規模保育園4園・認可外保育園5園（企業主導型3園含む）・家庭的保育1園】 計39園		
参加者 日程調整を図り、2名～3名で訪問する。	○教育指導課（3名） ・幼児教育アドバイザー：大城美恵子 ・幼児教育推進コーディネーター：伊集恒子 ・幼児教育係長：仲本留美子 ○こども保育課係長：大城奈々子 ○こども相談課保育支援員：親川裕子 ○園の参加者：園長、主任、他（年長組担任等）		
1 内容 ◎ 施設類型を問わず市内全園訪問する。 ○ 保育参観(60分) ・参観視点「子ども主体の保育・遊びこみ」 子どもの姿、環境構成、保育者のかかわり等。月案・週案の提出 ○ 懇談(45分間) ・アドバイザーにより本事業2年目の趣旨について説明 ・保育参観者が感想を述べる。 （参観の視点から：子どもの姿・保育者の関わり環境構成等） ・園長・主任から：自園の保育で大切にしている事等。 ・質問・要望等	 		
2 成果 ・「子どもの主体の保育」「遊びこみ」について知らせることができた。 子ども主体の保育の展開へと保育者の意識が変わってきた。 保育の改善や行事を子ども主体へと見直すようになってきた。 ・保育者が、要領・指針を手元に置くようになった。			
3 課題 ・要領・指針に基づいた保育実践 ・「子ども主体の保育」「遊びこみ」についての理解。 ・幼児の主体性と保育者の意図をバランスよく絡める （共主体の保育実践）			
4 改善策 ・要領・指針に基づいた保育実践について研修実施 ・「子ども主体の保育」「遊びこみ」について保育者研修の継続 ・「子ども・保育者の共主体の保育」について研修の継続 ・保育改善を自分事として捉えるよう保育実践指導を中心に支援する。			

